

# 平成29年度 第1回 学校協議会 【議事録】

平成29年6月28日

10:00～11:30

[場 所]: 茨木支援学校 校長室

[出席者]: 校長 准校長 教頭(2名) 事務長 首席(4名) 部主事(3名) 指導教諭  
教務部長 協議会委員(4名)

はじめに

校長・准校長紹介、あいさつ

## ① 会長挨拶

茨木支援学校は歴史の長い学校であるし、転勤等で教員が入れ替わったとしても、一人ひとりがそれぞれの立場でがんばればよい学校として維持していくことができている。学校協議会は学校の応援団である。違った目線、多様な目で学校を見ることも大事である。委員の皆様には忌憚のないご意見を出していただきたい。

## ② 協議会委員紹介 事務局紹介

## ③ 報告及び協議 (※●は協議会委員からの意見、提言等 Qは質問 Aは学校の回答)

[協議会意見書箱について]

今回は意見書箱への投書は無し。

[平成29年度 学校経営計画について]

[学校長より]

- ・(別紙 学校経営計画)
- ・めざす学校像については継続。中期的目標の欄に具体的な内容を示している。
- ・大きくは、子どもファーストの視点、キャリア教育の充実を進めること、センター的機能を高めること、学校がチームとして進んでいくことの4点である。
- ・(学校経営計画「本年度の取組内容」の説明)

[准校長]

- ・本年度より、文部科学省から医療的ケアの体制構築のためのモデル校として、箕面支援・交野支援とともに指定を受けている。看護師の体制や校内の医療的ケアの体制を整えていきたい。
- ・職業基礎コースをはじめ、高等部のコース選択制の体制を整備していく。
- ・再来年度(平成31年度)に創立50周年を迎える。50周年に向けて、研究部を中心に、授業改善・授業研究の取組みをスタートしている。

Q. 職業コースに関して、アビリンピックなどには出場していないのか。

A. 万博公園駅での出店等は行なったが、アビリンピック出場はしていない。

- 他校ではアビリンピックに出場していると聞いた。メダル等の表彰もあるので、子どもたちにとって一つの励みになるのでは。
- 学校長ブログがよく更新されており、学校の様子が良く分かるようになった。
- 学校の情報については、学校側は発信されていると思うが、保護者にとっては情報が入りにくい。医療的ケアの国事業についても、役員になって初めて知ることが多い。
- ホームページ等を活用して情報発信していくことは良いと思う。
- 学校経営計画の中身をそれぞれの教員が共通理解をもって進めていかないといけない。
- 学校経営計画の細かな変更点や学校長の思いをしっかりと教職員に伝えることが大事である。教職員と学校長との意見の交流をしていかなければならない。
- 今年度の新しい項目、今年度の重点目標を教職員が意識できるか、学校全体で協力体制をとることができるかが重要である。
- 学校協議会の中で出てくる意見をどのように残していくか、どのように教職員に伝えていくかも大切である。

[授業評価実施予定について]

[教頭より]

- ・保護者については、6月に各学部1週間ずつ授業参観週間を設定し、授業を観ていただいてアンケートを提出いただくことになっている。
- ・生徒については、提出可能な子どもについて、提出してもらうことになっている。
- ・アンケート結果や自由記述欄に書かれたご意見は、集約し全教職員に周知して授業改善に役立てている。
- ・12月にも各学部1週間ずつ設定している。
- ・今年度は例年と比較しても、参観者数が少ない。

[学校長]

- ・条例によって授業の外部評価を取り入れることとなった。
- ・一人の教員につき最低でも3名以上のアンケート結果が必要となる。
- 教員にとって、授業が一番大事である。会議や保護者対応など他にも業務がたくさんあるが、どのように授業力を向上させていくかが最も問われることである。
- 保護者が教員を評価するのは難しいことだと思うが、アンケート数が少なくても継続して欲しいし、教員もアンケート結果を指標として授業力の向上を進めていただきたい。

Q. 授業参観の頻度はどれぐらいか。

A. 年2回、各1週間ずつ設定している。

- 企業などでは、全ての業務が数字となって出てくる。学校では数字として現れない部分が多いと思うが、そういった部分で向上心を持って取り組んでほしいと思う。

- 学校経営計画を見ても、目標設定では何%上げるなどの目標が示されていて分かりやすくなっている。数値として目標を持つことは大事である。

[本年度の使用教科書について]

【教務部長より】

- ・使用教科書一覧（別添資料）は、本年度使用分の一部を抜粋したものである。
- ・子どもの実態に応じて一般図書を選定している。
- ・実際の教科書の見本を用意しているので、ご意見をいただきたい。
- ・昨年度の学校協議会にて、年度末に教科書を持ち帰ることになっており保護者が新しい教科書を見る機会がないとのご意見をいただいた。  
対策として、5/13（土）の参観日に、希望者には使用教科書を公開することとした。また、保護者にアンケートをとり、希望の保護者には持ち帰っていただく機会も設けた。

Q. 情報関係の教科書はないのか。

A. 情報の授業は、教員が独自の教材を準備し行っている。  
来年度の教科書については使用を検討している。

- どういった教科書を使っているのか知らせてもらうことは保護者はうれしい。それを知ることによって、同じような本などを買ったりせず違ったものを選んで購入したりすることができる。  
どのように授業に活用しているかなどがわかればもっと良い。  
持ち帰りを希望しない保護者にとっても、教科書の写真入りなど一覧で知らせてもらえるとよい。

A. 年度当初に年間計画・授業のシラバスはできているので、どの授業にどの教科書を使用するかはお伝えすることができる。

Q. 教科書の選定の基準はいつ誰を対象に選んでいるのか。

A. 前年度の7月に、次年度のコース・グループの児童生徒を想定して選定している。

- 一覧表でもよいので、使用教科書を年度当初に知らせてほしいと思う。

#### ④ 諸連絡

第2回学校協議会の日程について・・・11月

第3回学校協議会については、今年度は1月末でお願いしたい。

以上